

星城 懇話会

第36号

2022.3 発行

発行：星城懇話会事務局

〒476-8588

東海市富貴ノ台 2-172

TEL 052-689-6002

FAX 052-689-6003



【新作舞踊集「西川右近の一生」】



【長唄「五人連獅子」】



【清元「六玉川」】



名古屋をどり 西川右近 追善公演

Nagoya Odori Ukon Nishikawa Memorial Performance

西川流「第73回名古屋をどり」が御園座で令和3年10月29日から3日間開催されました。

昨年度は新型コロナウイルス蔓延のため公演中止を余儀なくされましたが、今年度は夜公演のみと規模をコンパクトにまとめた形での公演となりました。

今回の公演は令和2年12月12日、長きにわたり西川流および名古屋をどりを牽引してこられた総師・西川右近氏が急逝されたため、「西川右近追善公演」として開催されました。

演目は、右近氏と縁のあった芸妓の皆様が特別出演した「芸妓の賑わい」、西川流四代目家元である西川千雅氏をはじめ主格男性舞踊家達の長唄「五人連獅子」、家元補佐として西川流を支える西川まさ子氏・陽子氏をはじめ主格女性舞踊家8名の清元「六玉川」、そして新作舞踊集「西川右近の一生」では映像と実演を交え、右近氏の足跡をたどる演目となりました。

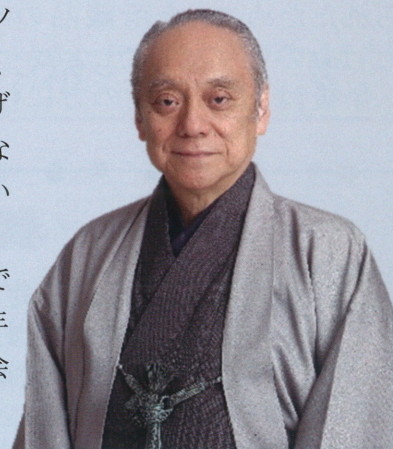
令和4年から公演内容が大きく変わり、古典のみの舞踊会とさらにエンターテインメントに振り切った公演の2種類に分かれた形となります。

「新生名古屋をどり」にぜひ足を運んでみてください。

西川右近氏と名古屋石田学園は古くから親交があり、平成18年の星城懇話会発足時から令和2年までの14年という長い期間を理事として、またその期間中の2年間は会長職を務めていただきました。

また平成21年「ハートの日」講演会では1,000名以上の参加者へのNOS S(日本おどリスポーツサイエンス)のご指導、平成22年には「にんげん見本帖」のご講演など多大なお力添えをいただきました。

なお、星城懇話会では平成19年から毎年「名古屋をどりの鑑賞会」を開催しております。



星城美術館特別展 ～彫刻に親しむ～

令和3年12月18日 於 石田記念館

昨年度、工藤潔先生に星城懇話会会長にご就任いただき、今回はその記念として開催されました。

鑑賞に先立って、工藤会長に彫刻についてご講演いただきました。彫刻の歴史や作品を制作する際に心がけていること、昨年、第8回日展で文部科学大臣賞を受賞(令和3年10月)した作品「duet」についての解説など盛りだくさんの内容となりました。

工藤会長は時々ジョークを交え会場の笑いを誘いつつ、彫刻にかける思いを熱弁されました。

講演の後は自由鑑賞時間としました。

今回の特別展のためにご貸与いただいた改組新第5回日展東京都知事賞受賞作品「harmony」をはじめ計13点の作品展示を行いました。作品を前にして工藤会長が直々にご解説くださり、鑑賞者の方々は興味深く耳を傾けられていました。



【講演する工藤会長】

第8回 日展 文部科学大臣賞

「duet」

工藤潔先生による作品解説

- 「昨今、不可思議な現象が我々の日常に暗い影を落としている。中々爽やかな気分になれない。
- 人と人が心から自由に語り、唄い、触れ合える、そんな生き生きとした歓びに満ちた姿を二重唱で世界中に届けたい。」



【「harmony」の解説をする工藤会長と鑑賞者の方々】

その他の芸術品も本館1階のアトリウムや南庭など複数の展示場所を設けました。コロナ禍で時間が限られたために、全所蔵品の半分ほどに絞りましたが、展示に工夫をこらした鑑賞会でしたのでご堪能いただけたのではないのでしょうか。

今後は、広く一般の方にも星城美術館の公開を検討しております。

【報告】瀧川鯉斗師匠落語会・開催延期

2月9日(水)に予定しておりました「瀧川鯉斗落語会」は、会員の皆さまに元気をお届けしたいと企画・準備してまいりましたが、年明けから急激にコロナ禍の状況が悪化したため、残念ながら延期の判断をさせていただきました。

時期は未定ですが、コロナ禍が落ち着き次第開催を考えております。

星城高等学校 6階フロア(会議室)

待井恭子先生の絵画特別展示会場。今回の特別展に合わせて「時の流れに」を寄贈いただき、加えて「白い花」をはじめとした4点の作品をご貸与いただき、既存作品と合わせて計11点の展示を行いました。

アトリウム・南庭

絵画と彫刻、計11点の展示会場。開放感のあるアトリウムと南庭を活かし、見ごたえのある大きな作品を多く並べました。

アトリウム入口には、近代ヨーロッパの代表的彫刻家であるエミール＝アントワーヌ・ブールデルの作品「聖なる芸術」を展示しました。

1階ラウンジ

本館の入口となるこの場所には、藤森兼明作「トラバーニへの想い」など著名な作家の方々の作品を計10点厳選し展示しました。



【待井恭子先生の作品を鑑賞する方々】

展示場所ご紹介

石田記念館

1階ロビー

工藤潔先生の特別展示会場。

展示室

東京国立近代美術館所蔵の加山又造作「千羽鶴」のレプリカをはじめ、計7点を展示しました。

日本画、洋画、彫刻、書などさまざまなジャンルの作品を一度に楽しむことができる場所としました。

資料室

名古屋石田学園の創立者石田鏞徳先生ゆかりの品を展示し、明治39年から昭和50年にご逝去されるまでの69年間の歴史を辿ることができるスペースとしました。

星城美術館にはその他にもたくさんの作品が常設展示されています。

作品についてはQRコードから星城美術館のページに飛ぶことができます。

「星城美術館」と検索しても出てきますので是非ご覧ください。

星城美術館
展示作品はこちら↓



名古屋石田学園 80周年記念寄付のお願い

令和3年に名古屋石田学園は創立80周年を迎えました。ここまで来られたのもひとえに皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。名古屋石田学園の将来ビジョン実現と未来へ向けた更なる飛躍の基盤整備のため、皆様方に格別のご芳情をお寄せいただきたく、謹んでお願い申し上げます。詳細はホームページをご覧ください。



<https://anniversary-n-ishida.jp/>

星城懇話会にゆかりのある先生方の

展示作品をご紹介します

第8回

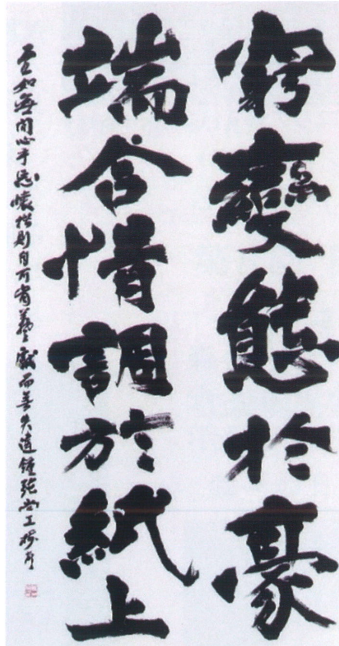
日展 名古屋展



東海テレビ賞
楠崇子作「鳥、風の響」



待田和宏作「撓屈『瀝VII』」



樽本樹邨作「書譜」



CBC賞
待井恭子作「 Rond・翠」



藤森兼明作
「アドレション・サンタマリア・アスタ」

第8回日展名古屋展が1月に愛知県美術館ギャラリーで開催されました。

皆さまに開催案内をご郵送いたしました。コロナ禍でお出掛けいただくことができなかった方も多かったのではないのでしょうか。

工藤会長の作品(2ページ目掲載)は文部科学大臣賞、楠先生の作品は東海テレビ賞、待井先生の作品はCBC賞を受賞されました。おめでとうございます。

新規会員募集

「星城懇話会」は、教育・文化・芸術分野において地域社会の活性化に貢献することを目的に活動しています。また、諸活動を通じ、会員相互の親睦と啓発を図り、合わせて学園の活動も支援しております。

ご紹介いただける方がいらっしゃいましたら事務局までご連絡をお願いいたします。

【星城懇話会事務局】 TEL : (052) 689-6002 FAX : (052) 689-6003